

| Minami Kyushu University Syllabus |  |         |         |   |         |                |     |
|-----------------------------------|--|---------|---------|---|---------|----------------|-----|
| シラバス年度                            | 2021   | 開講キャンパス | 宮崎キャンパス | 開設学科  | 食品開発科学科 |                |     |
| 科目名称 [英語名称]                       | 職業指導 [Vocational Guidance]   |         |         | 実務経験<br>教員担当  | ○       | アクティブ<br>ラーニング | ○   |
| 科目コード                             | 420910   | 授業形態    | 講義      | 単位数   | 2       | 配当学年           | 3年次 |
| 教員氏名                              | 陳内 秀樹  |         |         | 学位授与の方針<br>との関連   | DP2(2)  |                |     |
| 授業概要                              | <p>職業指導の社会的意義を理解し、学校現場での職業指導の実際を見つめ直し、人権視点で掘り下げる体験や、指導手法の体験を通じて、自ら学びに向かい未来を切り拓く資質と能力を育む職業指導のあり方を学ぶ。</p> <p>皆さんの中学・高校時代を振り返ってみよう。どんな職業指導の機会があったらう。皆さんの日常の学びの中に職業指導を感じていただろうか。教科の学習は自分の将来に役に立つ気がしない。学校の掃除時間はできるだけ手抜きをしたい。地域産業見学は眠かった。インターンシップは大変で学校生活の方が楽だった。HRでの適性検査や自己分析は意味不明で、やるほどに自信がなくなった。そんなことはなかったらうか。</p> <p>本来、中学・高校の教育活動全てはその内に職業指導の側面を有している。本科目では、カリキュラムマネジメントの視点から、あらゆる教育機会を通じていかに職業指導を行うかを考える。生徒に適切な職業観を育み、進路を選択し決定する力を育む。</p> <p>また、Society5.0において、職業(社会における個人の役割)は選ぶものから、「課題を発見し他者と協働し解決を図り、新しい知・価値を創造する」ことを以て自ら創出していくものに比重を移していくらう。そうした未来を切り拓き生き抜く力を生徒に与える職業指導のあり方を考える力を身に付ける。</p>   |         |         |   |         |                |     |
| 関連する科目                            | 中等教科教育法、特別活動論、総合的な学習の時間の指導法、生徒指導・進路指導論、教育課程論   |         |         |   |         |                |     |
| 授業の進め方と方法                         | 講義によるインプットと、ワークシート記入やレポートなどのアウトプットのバランスを図り、グループワークによる意見交換やプレゼン発表によるアクティブラーニング型授業を展開する。   |         |         |   |         |                |     |
| 授業計画                              | <p>授業計画</p> <p>第1回: 職業指導とは? 1~職業とは? 法(労働権、職業安定法等)に見る職業指導のあり方~<br/> 第2回: 職業指導とは? 2~教育の目的、教科「農業」の目標、地域産業から見た職業指導の概観~<br/> 第3回: 農業高校における職業指導の事例に学ぶ<br/> 第4回: 他校種(普通科、工業科、商業科、水産科等)及び中学校と農業高校との職業指導例との比較<br/> 第5回: 職業指導事例分析グループワーク~各自調査事例の発表「こんな職業指導をしたい!」~<br/> 第6回: 職業指導の手法を知る~キャリアカウンセリングの理論及びカルチャーマップ等~<br/> 第7回: 職業指導の手法を体験する~キャリアカウンセリングの理論等を使った自己・他己評価~<br/> 第8回: 職業指導の意義を見直す1~産業及び地域が求める人材を考える。過去/現在/未来~<br/> 第9回: 職業指導の意義を見直す2~教育の目的「人格の完成」・リテラシーとリベラルアーツ~<br/> 第10回: 中間課題「私の目指す職業指導(中間)」(グループでの意見交換後レポート作成)<br/> 第11回: 教科(専門/普通教科)・HR活動・分掌(進路指導部)それぞれの職業指導の特徴と組合せ<br/> 第12回: 進路指導年間指導計画を作るには~出身校の進路に係る年間指導計画を分析・特徴の整理~<br/> 第13回: 職業指導をデザインする~職業指導におけるインストラクショナルデザイン~<br/> 第14回: ケーススタディ・グループワーク「こんな場面であたはらどう指導・対応する?」<br/> 第15回: 最終課題「私の目指す職業指導(最終)」(グループでの意見交換後レポート作成)</p> <p>定期試験: 用語の整理(選択式: 30問程度)と解説(文章での解答4問程度)</p> |         |         |   |         |                |     |
| 授業の到達目標                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業指導の背景にある社会ニーズ及び関連用語と、法的根拠を理解し、説明できる。</li> <li>・職業指導の事例を知り、教育現場で起こりうるケースを想定し、自らが目指す職業指導と学習展開についてレポート等でアウトプットできるレベルまでの理解と実践力を身に付ける。</li> <li>・授業の過程を通じて職業指導に役立つ指導手法を身に付ける。</li> <li>・ケーススタディにより、様々な状況を想定し、状況に対応した職業指導の在るべき姿を考察する中で、多様な生徒に寄り添いつつ、保護者・他教員・地域社会と共通理解を育み協力して教育力を発揮する姿勢を養う。</li> </ul>  |         |         |   |         |                |     |
| 授業時間外の学修                          | <p>①レポート1: 事前課題レポートA41枚 テーマ「自分の小学校時代、中学校時代、高校時代を振り返り、どんなキャリア教育を受けたかを整理する」<br/> ②レポート2: 中間課題レポート「私の目指す職業指導」(800~1200字程度)<br/> ③レポート3: 職業指導に関する年間指導計画(HR活動・教科指導・学校行事(A4・1枚程度))<br/> ④レポート4「私の目指す職業指導」(800~1200字程度)<br/> ⑤各回で小レポートを作成する。(300字程度)</p> <p>※中間、期末は同じテーマであって、期末課題は中間や途中提出した小レポート等の内容を含んでよい。学習指導案や個別指導計画や論述形式、要点リスト等でも可。期末課題は講義後半に習得した知見も盛り込む。</p>   |         |         |   |         |                |     |
| 課題に対するフィードバック                     | テストの模範解答の提示、レポートの講評・評価ポイントの説明などを行う。レポートや試験解答用紙はスキャンしその場で返却する。  | 評価方法    |         | 学習意欲(授業中): 10%<br>各回小レポート: 20%、<br>各回ワークシート: 20%<br>レポート(1~4): 30%<br>期末試験: 20% |         |                |     |
| テキスト                              | テキストとしてレジュメや資料等を適宜配布する(スライド140枚、ワークシート20頁程度)。  |         |         |   |         |                |     |
| 参考書                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子政府の総合窓口 (<a href="http://www.e-gov.go.jp/">http://www.e-gov.go.jp/</a>) 職業安定法、教育基本法等関連法令検索</li> <li>・知財学習取組紹介映像・事例集 (<a href="http://www.inpit.go.jp/jinzai/educate/coop/suisin/intro-move.html">http://www.inpit.go.jp/jinzai/educate/coop/suisin/intro-move.html</a>)</li> <li>・『転換期の人材育成システム』木村 保茂</li> <li>・『子どもに教えたい技術の話—技術立国日本の肖像』(教育と文化シリーズ)</li> </ul>   |         |         |   |         |                |     |
| 備考                                | グループワークやレポート提出のため、各自PCを持参してよい。(手書きでも可)   |         |         |   |         |                |     |